

令和5年度事業計画

鳥羽ビジターセンター及び事務所を鳥羽マリンターミナルに移転して約1年半が経過しました。令和4年度は、旧ビジターセンターと比較して大勢の観光客に対応すべく資料の充実などを図り安定した施設運営ができる体制を整えることができました。また、新型コロナウイルスの影響もまだまだ予断を許さない状況ではありますが、観光客の入り込み状況はコロナ以前に戻りつつあります。

さて、令和5年度につきましては、これまで継続してきた「Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園」を三重県と協力して実施する中で「第6回石原円吉賞」表彰式及び関連イベントを開催し、また環境省事業「満喫プロジェクト」への協力や、エコツアーの充実、そして伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の事業にも参加するなど伊勢志摩の発展のため積極的に活動していきます。

また、新転地、鳥羽マリンターミナルは、鳥羽湾に突出した半島に立地し、絶景の自然環境に囲まれているため、利便性だけではなく“観光スポット”としての価値も高く、訪れた観光客の評価も高いと言えます。しかしながら、その認知度はまだまだ低いと言わざるを得ません。その中で、鳥羽マリンターミナルで開業する鳥羽ビジターセンターの役割は、決して低くなく、今後は、鳥羽マリンターミナルで営業する事業所及び施設管理者と連携して伊勢志摩の海の玄関口として魅力ある観光エリアに育てていく必要があり、それに伴って鳥羽ビジターセンターの利用者の増員につなげられるものと確信します。

一方、旧鳥羽ビジターセンター跡地の活用につきましては、本年度1年間をかけて三重県、鳥羽市と共に議論を重ねた結果、現施設の活用は断念して、2年後をめどに取り壊す方向で進めてまいります。

(1) 伊勢志摩国立公園エコツーリズム促進広報事業

① 伊勢志摩エコツアーガイドマップの配布

当協会作成のエコツアー等のフィールド紹介マップをパンフレットコーナーに設置し、また機会あるごとに有効に活用して、伊勢志摩におけるエコツーリズムの知名度を高めていきます。

② 伊勢志摩カレンダー等の製作

伊勢志摩にある多くの絶景スポットの写真を活用してカレンダーを作成、広くマスコミ関係を通じて公開する。カレンダー作成により伊勢志摩国立公園の魅力アップを図りながら、売り上げにつなげます。

③ 伊勢志摩上空からの写真・動画の発信

空中写真家・松本氏がパラグライダーから撮影した美しい伊勢志摩国立公園の画像を広く公開。令和5年度も雑誌、マスコミ等に提供して伊勢志摩の露出アップにつなげます。また、現在あるがままの国立公園をデータとして後世にも残し伝えていきます。

伊勢志摩の空撮写真を使ったポスターと絵はがきは観光客に人気があり、復刻版海女ポスターと併せて販売促進に力を入れていきます。

④ ホームページからノ情報発信

ホームページより伊勢志摩国立公園の魅力情報を発信することで、利用者の理解を深め、観光客誘致を通じて地域社会の発展に寄与します。

⑤ エコツアーの開催

3市1町及び各地のエコツアー開催団体や地域のボランティア団体等との共同企画として実施する中で、伊勢志摩地域の自然景観の素晴らしさを知っていただき地域社会への理解を深め地域の発展に寄与します。コースは、主に“近畿自然歩道”を中心としたコース設定とします。

〔開催予定〕

- 9月16日 伊勢市 「音無山と神前海岸を巡る」
- 11月25日 伊勢市 「平家の里～竜ヶ峠～天照山」
- 10月 7日 鳥羽市 「答志島エコツアー」
- 11月11日 鳥羽市～志摩市 「青峯山を巡る」
- 12月 2日 南伊勢町「鵜倉半島を巡る」
- 1月27日 志摩市 「安乗岬を巡る」他数コースを予定

⑥ 「Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園」と「石原円吉賞」事業

国立公園指定記念日（11月20日）をめぐりに「第6回石原円吉賞」の表彰式及び関連イベントを実施します。

⑦ 伊勢志摩国立公園エコツアーリズム推進協議会事業

継続して伊勢志摩国立公園エコツアーリズム推進協議会事業に参加していきます。

⑧ 関係機関への協力事業

- 伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会
- 「鳥羽まちなみ水族館」
- 「鳥羽クラフト展」
- 伊勢志摩学生団体誘致委員会
- 鳥羽市エコツアーリズム推進協議会

- 環境省・伊勢志摩国立公園地域協議会
- その他、関係事業

(2) 鳥羽ビジターセンターの効果的な運営

① 来訪者に伊勢志摩情報の提供と案内

鳥羽ビジターセンター訪問者に伊勢志摩国立公園の特徴と見どころを説明。観光資料の提供と地域の情報やアクセスなどを案内します。そして地域の案内パンフや街歩きマップをさらに充実していきます。

② 常設展示

「海女漁の関係資料」、「伊勢志摩の航空写真」、「伊勢志摩の観光ポスター」「クラフト作品」などを展示し、来訪者の興味を高めます。また、環境省が設置したデジタルサイネージにつきましては可能な限りの協力し、活用いたします。

③ 児童向け「クラフト教室」の開催

タイトルは、「森と海からの贈り物・・・ちびっ子クラフト教室」とし、森で集めた物や浜辺の漂着物などを使って作品作りを10日(10回)程度開催します。

(3) 自然環境保全活動(グリーンワーカー事業)

伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町のボランティア団体の協力を得て、各地域での清掃活動を行い自然環境の保全、整備に役立たせます。

二見浦周辺、鳥羽駅前佐田浜一円、答志地区海岸、おうむ岩周辺、国府白浜、中津浜浦、相賀浦ニワ浜、など年間20～25ヶ所。

(4) 伊勢志摩国立公園指定70周年事業に関係して

平成28年度の「伊勢志摩国立公園指定70周年事業」で制作した、伊勢志摩の空撮20枚の写真パネルを活用するなど、他団体の展示会等への呼び掛けに応じて積極的に参加します。